

1年の無火災を誓って

令和6年松前町消防出初式

「令和6年松前町消防出初式」が、1月14日、松前公園多目的広場で行われ、消防団員などの消防関係者約450人が参加しました。

式典では、功績のあった団員の表彰が行われ、参加した皆さんは、火災予防に対する意識を高めていました。

被表彰者は次の通りです（敬称略）。

▶知事表彰

<団体表彰>

松前町消防団

<個人表彰>

第2分団 団員 高木 正人

第4分団 副分団長 大政 邦弘

▶愛媛県消防協会長表彰

<功績章>

第6分団 分団長 三好 学

<勤続章>（10年以上）

第1分団 団員 中矢 大悟

第4分団 分団長 八束 健

第6分団 班長 向井 康雄

第9分団 団員 井原 司

<規律章>

第3分団 団員 常盤 和裕

第6分団 班長 竹田 真二

第6分団 団員 向井 直人

第9分団 団員 烏谷 政和

<感謝状 家族内助の功労者>

第1分団副分団長夫人 山田直美

▶町長表彰

<個人表彰>（消防団員歴2年以上）

本 団 班長 亀井 恵

本 団 団員 高森小百合

第4分団 団員 弓立 貢也

第4分団 団員 武智 慎平

第4分団 団員 西村 武流

第6分団 団員 池原 浩

第6分団 団員 平川 幸祐

第8分団 団員 谷野宮政浩

第9分団 団員 加藤 光崇

<兄弟表彰>（実の兄弟が5年以上在職）

第6分団 団員 日野 嘉人

第6分団 団員 日野 貴之

第6分団 団員 日野 雅文

<優良分団表彰>（他の模範となる分団）

第6分団

第1分団

第5分団

▶松前町纏会長感謝状

第5分団



盤上で繰り広げられた熱戦

町民囲碁大会

「町民囲碁大会」は12月3日、東公民館で開催されました。

A級（三段以上）とB級（二段以下）に分かれて行われた同大会には、16人が参加。参加者は、真剣な表情で対局に臨み、日頃の練習の成果を存分に発揮していました。

結果は、次の通りです（敬称略）。

▶A級

【優勝】喜井 孝 【準優勝】中島保榮

【3位】村主隆浩 【敢闘賞】松本義邦

▶B級

【優勝】児玉 猛 【準優勝】飴矢貞一

【3位】酒井一美 【敢闘賞】永田幸男



被災地の復興を願って

令和6年能登半島地震義援金

令和6年能登半島地震の被災地を支援するため、1月13日、伊予高等学校の生徒47人と町内の企業関係者など10人は、エミフルMASAKIで募金活動を行いました。集まった義援金61万9,946円は、被災地支援に活用されます。

伊予高2年の松田実穂さんは、「被災地が1日でも早く復興できるよう、少しでも力になれば」と話していました。



ようこそ、まさき町へ

まつまえ・まさき姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道まつまえ町の児童10人が、ふれあい交流事業の一環として、1月6日から8日まで本町を訪れました。

夏にまつまえ町で交流を行っている児童たちは、5カ月ぶりの再会に大喜び。初日は道後温泉飛鳥乃湯を訪れ交流を深めました。

2日目は、松山城見学の後、伊予高等学校で伊予高生が考案した特産のはだか麦を使ったクリームシチューをはだか麦ご飯にかけたシチューライスなどを作りました。慣れない調理に四苦八苦した児童もいましたが、高校生に作り方を教わりながら完成。完成した料理も一緒に食べて、はだか麦の味を堪能しました。その後、砥部焼き絵付け体験などさまざまな活動を一緒に楽しみ、思い出をつくりました。

最終日は、ホッケー体験をした後、お別れとなる松山空港へ。3日間、松前町をはじめ、愛媛県の文化や食に触れ、かけがえのない体験をして友情を深めた児童たち。住所を交換し、「また会おうね」と再会を約束していました。

本年度の交流事業はこれで終了となりますが、1,500キロメートル離れた児童たちの交流は、これからも続いていきます。



⑥はだか麦レシピ調理体験。完成した料理をみんなで食べる
⑥砥部焼絵付け体験。集中して仕上げる



④役場で記念撮影
⑥ホッケー体験。試合で交流を深める
⑥お別れの会。別れを惜しむ



←当日の様子を町公式Instagramで公開中！



④まんまイチゴ園でイチゴの食べ比べ

⑥サトイモを収穫しながら地域の人と交流

⑥おしゃれ写真撮影会。久保田大希さんからアドバイス



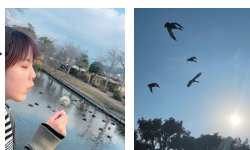
まさきの魅力を発見

豊かな中予暮らし体験・交流事業

県と町は1月12日、県内の大学生に中予地域への愛着を深めてもらうため、豊かな中予暮らし体験・交流事業を町内各地で開催しました。参加した8人の大学生は、サトイモの収穫、イチゴ狩りなどを体験。松前町ならではの味や人の温かさに触れながら、今まで知らなかったまちの魅力を発見していました。

参加した愛媛大学2回生の清水真夏さんは、「サトイモが甘くておいしかった。次は海に行きたい」とほほ笑んでいました。

撮影会で参加者が撮影した写真（ひよこたん池公園）



書き初めで気持ちを新たに

書き初めを書こう会

「書き初めを書こう会」は12月27日、松前中学校で開催され、約100人の生徒が参加しました。

藤岡抱玉さんなど松前小学校PTA書道サークルの皆さんの指導を受けながら、一筆一筆丁寧に新年の抱負を書いた生徒たち。何度も練習して、力作を仕上げていました。

参加した1年生の中野翔さんは、「力強く書くことを意識した。先生に教えてもらって、うまく書けてうれしい」とほほ笑んでいました。



新春を祝って

令和6年新春年賀のつどい

「令和6年新春年賀のつどい」は1月4日、文化センターで開催され、約180人が参加しました。

年頭のあいさつで田中町長は、「今年は『新しいまさき』の実現に向けたスタートの年。町民の皆さんの声をしっかりと聞いて、課題が希望に変わるまちを皆さんと一緒につくっていききたい」と抱負を語りました。

この後、参加者はあいさつを交わして新年を祝い、親睦を深めていました。



園児がバスの乗り方を学ぶ

バスの乗り方教室

町と伊予鉄バス(株)は1月17日、黒田保育所で「バスの乗り方教室」を開催しました。

参加した4・5歳児クラスの園児23人は、バスを見るなり大喜び。バスに乗る時は順番を守る、乗ったら騒がないなど正しいバスの乗り方を学んだ後、ICい〜カードを使ってバスに乗る練習をしました。

5歳の貞本俊くんは、「初めてバスに乗れて楽しかった。家族でバスに乗って出掛けたいな」と話していました。



楽しいね ホッケー

南都銀行 SHOOTING STARS によるホッケー教室

「令和5年度松前町ホッケーイベント」は1月20日、松前公園体育館や松前町国体記念ホッケー公園で開催され、小中学生など約150人が参加しました。

今回のイベントでは、ホッケー女子日本代表「さくらジャパン」で活躍する国内トップレベルの選手が所属する「南都銀行 SHOOTING STARS」によるホッケー教室を実施。

参加者は、選手の指導を受けながら、ドリブル、シュート練習や試合などを行い、ホッケーの楽しさを体感していました。

